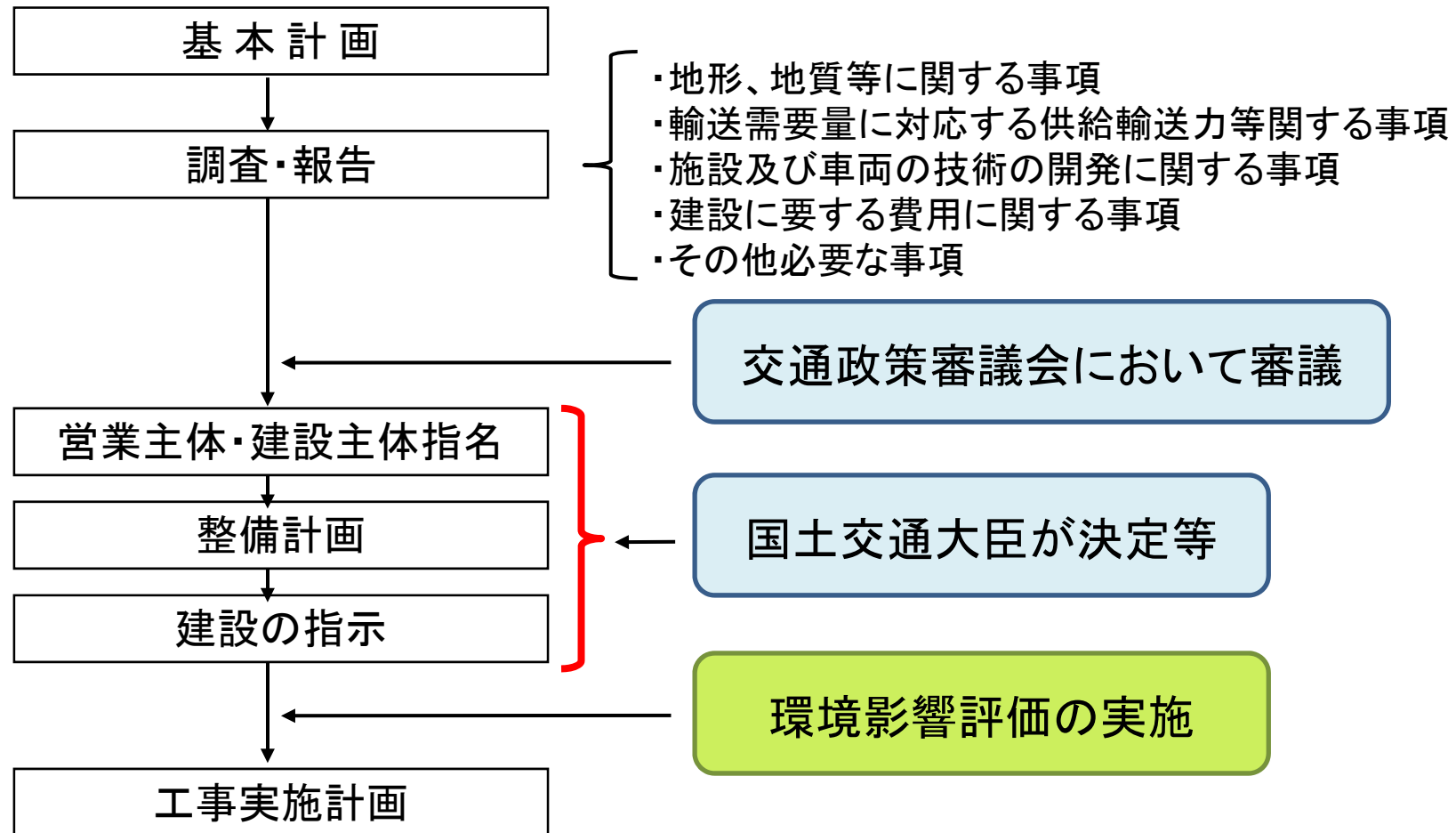


全国新幹線鉄道整備法に基づき計画を推進

- 平成23年5月、国土交通大臣より当社に中央新幹線の建設指示が出され、現在、環境影響評価を進めています。

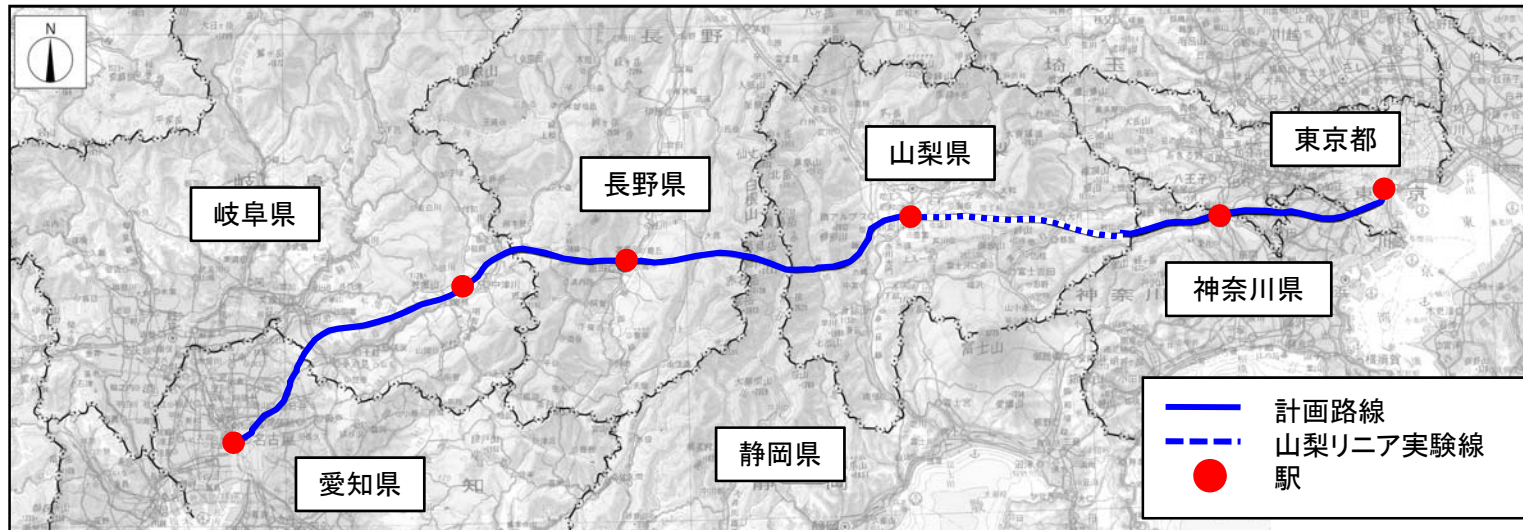


整備計画の内容等

- 整備計画の内容

建設線	中央新幹線	
区間	東京都・大阪市	
走行方式	超電導磁気浮上方式	
最高設計速度	505キロメートル／時	
建設に要する費用の概算額 (車両費を含む)	90,300億円	
その他必要な事項	主要な経過地	甲府市附近、 赤石山脈(南アルプス)中南部、 名古屋市附近、奈良市附近

- 概略の路線（東京都・名古屋市間）



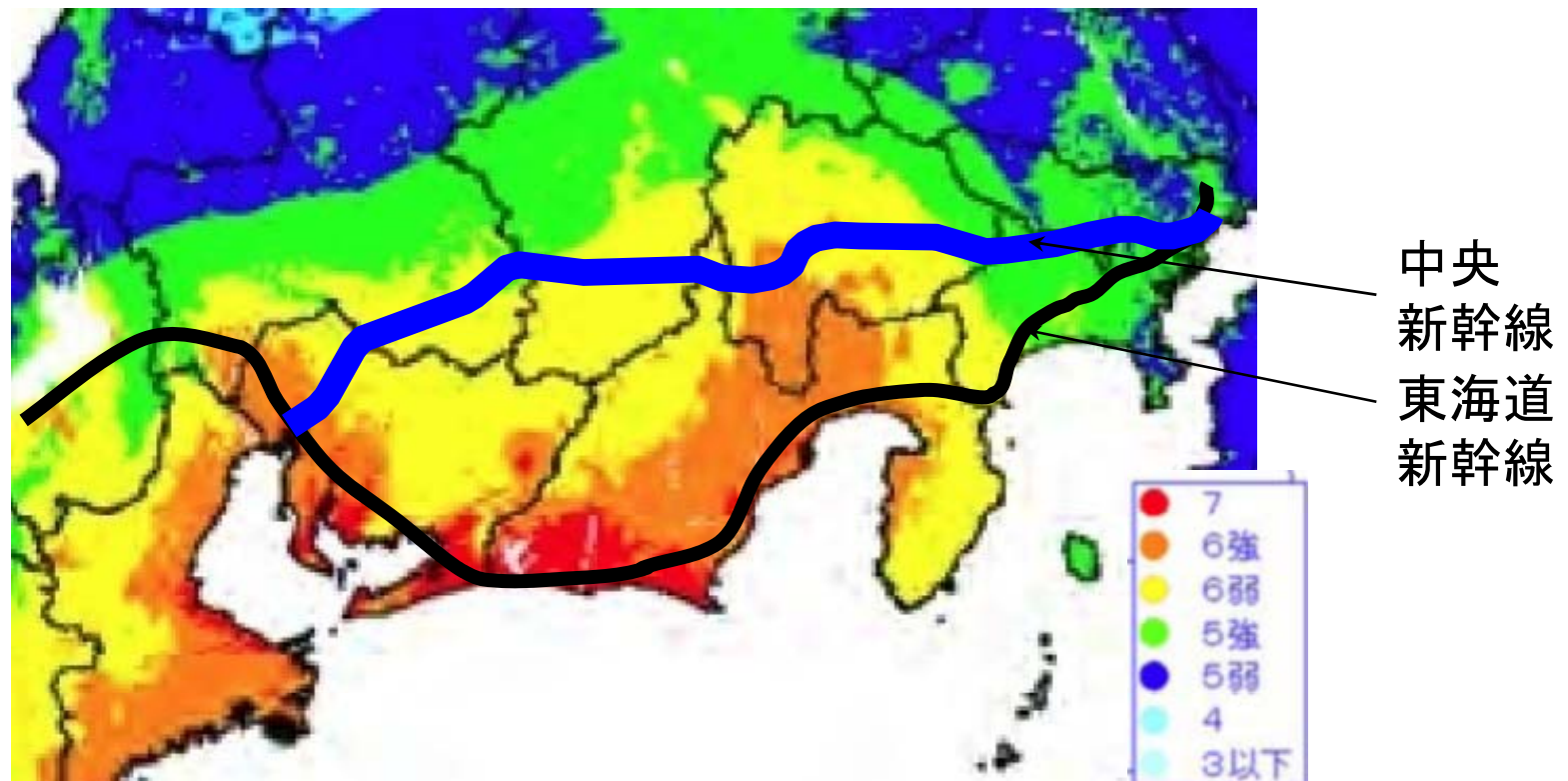
- 都市部においては、できる限り大深度地下を使用する計画

抜本的なリスク対策としての二重系化

東京・名古屋・大阪を結ぶ日本の大動脈輸送については、

- ・東海道新幹線が開業から49年を経過し、将来の経年劣化への抜本的な備えが必要です。
- ・大規模地震等、将来の大規模災害への抜本対策が必要です。

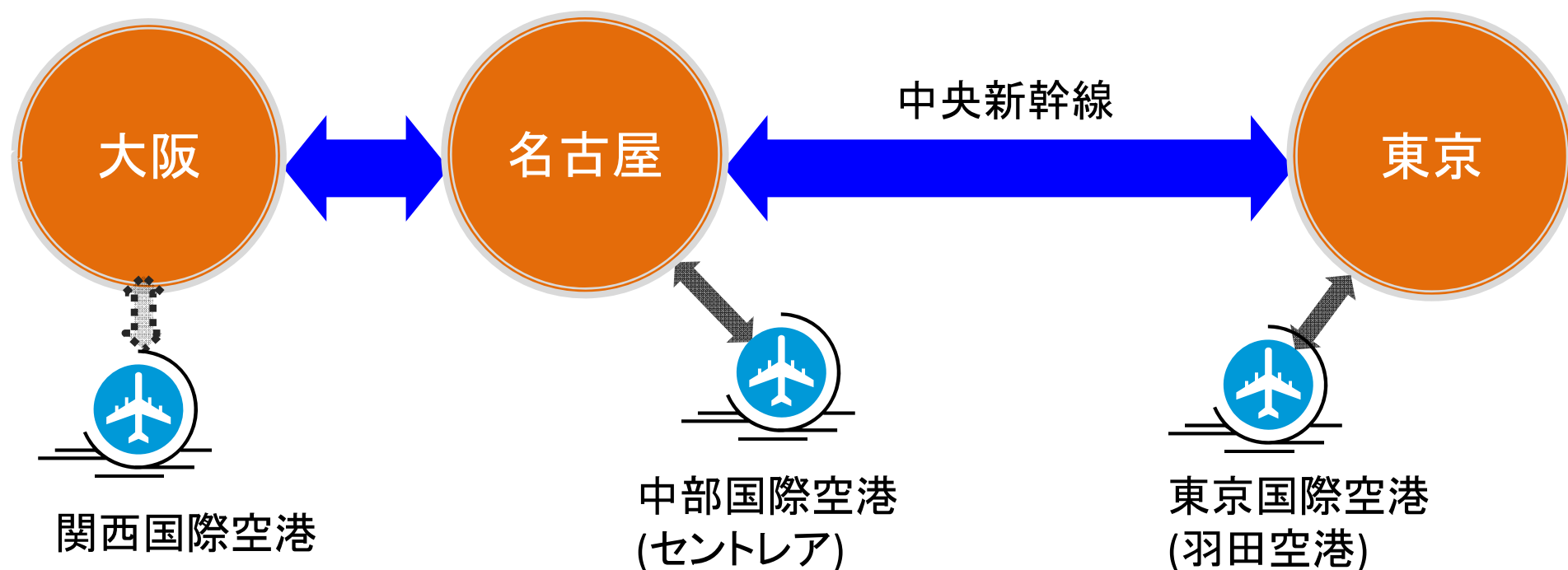
(参考)「南海トラフ巨大地震」の震度分布



出典：南海トラフの巨大地震モデル検討会資料(H24.8.29)に一部加筆

三大都市圏のアクセスが大幅に向上

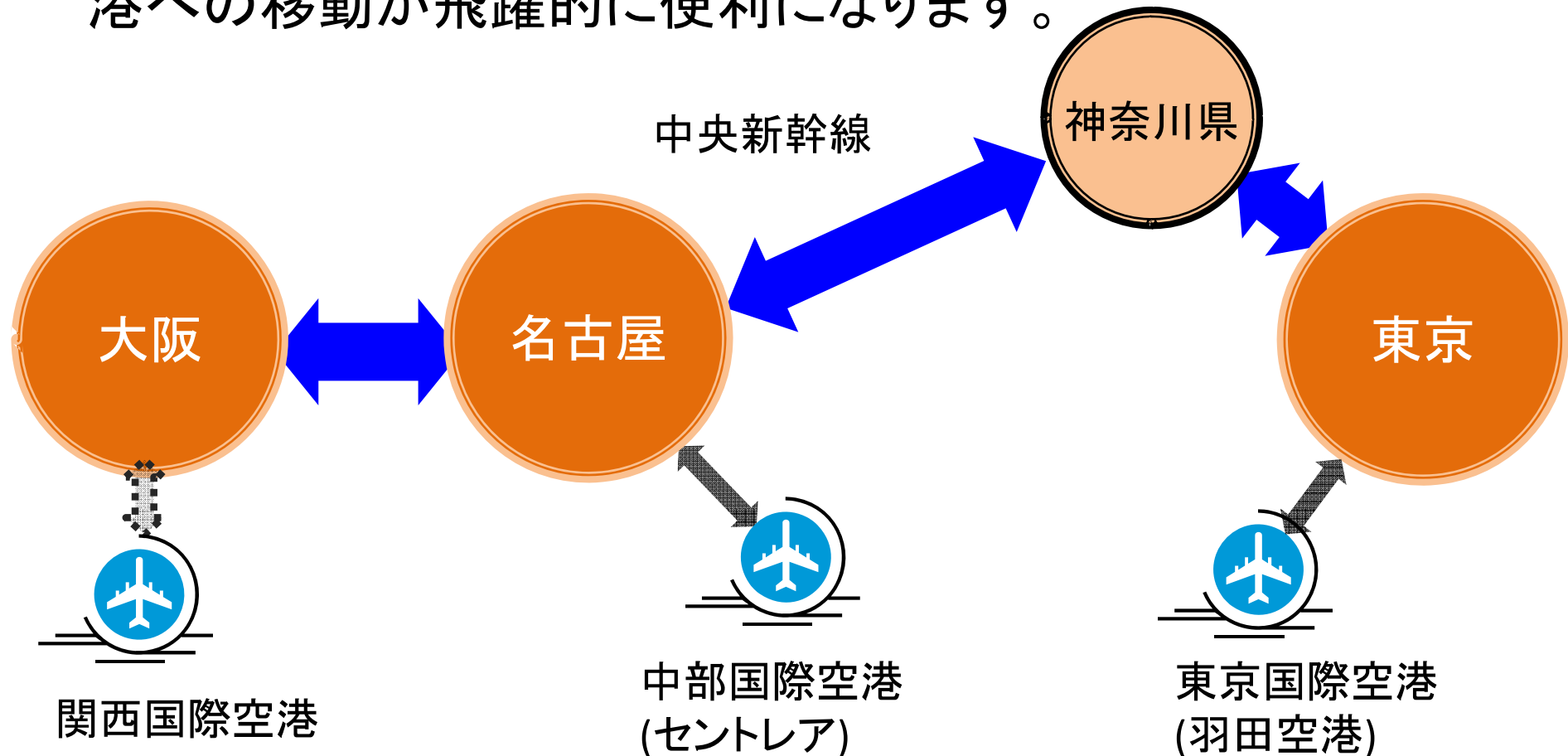
- ・三大都市圏が1時間圏内となり、1つの巨大都市圏が誕生します。
- ・東京・名古屋・大阪の各都市圏や国際空港への移動が飛躍的に便利になります。



(※東京都、愛知県の説明会で使用したスライド)

神奈川県と三大都市圏のアクセスが大幅に向上

- ・三大都市圏が1時間圏内となり、1つの巨大都市圏が誕生します。
- ・神奈川県内から、東京・名古屋・大阪の各都市圏や国際空港への移動が飛躍的に便利になります。



(※神奈川県の説明会で使用したスライド)